

助成事業実施 団体名	特定非営利活動法人アンプ		
実施事業名	東日本初！リアル商店街人生ゲーム		
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 協働助成事業（一般型） 【県政課題名： 】 ○協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ名：やまがたまちづくり活動支援事業】 団体支援助成事業		
団体の所在 市町村名	新庄市	事業費及び 助成額	事業費 1,471,342円 助成額 1,300,000円

○ 事業目的

- ◆商店街活性化・・・商店街離れが顕著な若い親子がターゲット。商店街の店舗をマスに見立て、回遊して貰いお店を知るきっかけとする。
- ◆親子関係再生・・・携帯ゲーム機の普及により、家庭内で家族の会話等が少なくなっている現在、親子で参加し、共に体験・共感・感動等することを通じ、家庭教育の在り方を、再度見直すきっかけする。またいじめや非行問題を未然に防ぐ家庭環境の再生を図る。
- ◆婚活事業・・・独身の男女がペアで参加することで、お互いの性格等を知ることができ、また一緒に体験・共感・感動等することで、多くのカップル誕生を目指す。

○ 実施内容

- ①第56回新庄100円商店街&第1回リアル商店街人生ゲーム開催  
実施日：6月18日（土） 会場：新庄市中心商店街
- ②第1回リアル人生ゲーム開催結果集約、傾向と対策検討会  
実施日：7月15日（金）
- ③第2回リアル商店街人生ゲーム開催  
実施日：9月22日（土） 会場：新庄市中心商店街
- ④第2回リアル人生ゲーム開催結果集約  
実施日：12月1日（木）



○ 事業の成果及び今後の展望

- ◆実施結果
  - 今まで知らなかった商店街や各個店、店主や店員を知って貰うことで、商店街に対する新規顧客獲得やリピーターの確保を通じた、商店街の活性化に効果があった。
  - 親子や家族のコミュニケーションの再確認・再構築によって、子供の家庭教育の在り方を再確認出来た。
  - 参加者が小学生以下の子供なので、模擬紙幣を実際にやり取りすることで、お金の重要性を学べる場として活用された。
- ◆今後の展望
  - 汎用性に非常に優れた事業であるため、助成事業終了後も、連携団体とのつながりを活かして、商店街の販促事業費に各事業からの資金を併用しながら、継続的に事業を実施していく。
  - 今事業での目的の1つである婚活は告知募集を行ったが参加者が無かった。次回の開催に向けては商工会青年部やJCと言った団体と協力し告知・募集などを行うことで若い世代の取り込みを行っていく。
  - なお、認知症等の症状改善として提携できないか医学的な見地からも問い合わせがあり、当助成の枠を超えたさらなる可能性を模索しながら事業を展開していく。

